

児童朝会 校長の話 10月18日

「人工知能」って聞いたことありますか。膨大な情報を集めて何かを予測をしたり、たくさんの計算をして問題を解決したり、人間に替わってロボットやコンピューターが行う技術です。皆さんが大人になる10年後や20年後は人工知能が発達して、今ある職業の半分はロボットやコンピューターの機械に替わってしまうと言われています。けれども私は日頃から、人工知能に負けない人間にしかない能力があるはずだ。それはどんな能力だろうと考えています。



将棋では「電王戦」というのが何年か前に行われました。人工知能のロボットと人間のプロ棋士が戦いました。結果は、何人かプロ棋士で勝った人もいましたが、ほとんどの

戦いでロボットが勝ちました。将棋のコンピューターソフトは28手先まで読めると言われています。そして考えられる手の数は合わせて6億手だそうです。人間ではとても想像できないほどの数ですから、将棋ソフトは強いわけですね。



最年少のプロ棋士、19才の藤井聡太さんを知っていますか。将棋のタイトル7つのうち、



棋聖、王位、叡王の3つを取っています。そして今、竜王のタイトルに挑戦しています。現在タイトルをもっている豊島正之さんと戦っています。10月に入ってその第一局が行われました。

将棋の戦いをしているとき、別の部屋では、将棋のコンピューターソフトが次にどんな手を打ったら勝てるか、予測しています。右の棋譜で、茶色の駒が藤井さん。オレンジの駒が豊島さんです。藤井聡太さんの123手目。将棋ソフトはピンク色の5つの場所を勝つための手として選びました。すると藤井さんは将棋ソフトが選ばなかった緑色の場所に桂馬を打って勝ちました。藤井さんは将棋ソフトが選ばなかった、さらによい手を見つけ出したと言えます。これはたくさんの人を驚かせました。



人間には計り知れない力があると思います。皆さんにもそんな力があるということです。とても素晴らしいことです。

人間には計り知れない力があると思います。皆さんにもそんな力があるということです。とても素晴らしいことです。